

鹿児島市 小学校

鹿児島市立宇宿小学校
東條 睦宣

一 地区の概要

本地区小学校部会は、市内七十九校（会員八十七名）で組織し、鹿児島市教育委員会の指導のもと、実践・研究を推進し、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

本地区は、十二ブロックに分かれ、年間五回行われる市教頭研修会を中心にブロック別に自主研修を行っている。

各ブロックでは、実践的な事例発表や情報交換を中心に、教頭としての資質向上を図り、学校運営が円滑に推進していただけるような学校教育活動の充実を図るための具体的方策を話し合っている。

本年度の鹿児島県公立小・中学校教頭会研究大会では、「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」を研究主題に、「第一A分科会」「教育課程に関する課題」及び第五A分科会「教職員専門性に関する課題」で提言を行った。

年度末には、ブロックごとに研究の内容や具体的な実践の様子をまとめ、「市教頭会研究紀要」として毎年発行している。

二 活動の状況

本年度は、年五回実施される市教頭会やその他の研修会で学んだことを各学校の教育実践に生かすこと、課題の解決に向けて取り組んでいる。

平成二十八年度は、県教頭会研究大会で、「組織・運営に関する課題」について研究提言発表を行った。さらに、第四分科会については、九州大会でも提言発表を行った。

そのため、担当ブロックでは発表に向けて、研修会を開き、準備を進める中で、研究を深めることができた。

年度末には、各ブロックの研究成果と課題を「研究紀要」にまとめ、各学校の教育実践に生かしている。

次年度は第十一期初年度の研究となるが、研究の視点と具体的内容を参考にしながら、二次以降につながるようになりたい。

今後、成果や課題を共有し、学校現場に役立つ実践的な研究を推進する。

鹿児島市 中学校

鹿児島市立武岡中学校
中村 洋一

一 地区の概要

本地区中学校部会は、学校数三十九校、会員四十二名で組織されている。七ブロック編成で研究を行い、今年度で三年目の研究になる。鹿児島市教育委員会の指導のもと研修を行い、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

平成二十八年度は、県教頭会研究大会で、「組織・運営に関する課題」について研究提言発表を行った。さらに、九州大会でも提言発表を行った。

そのため、担当ブロックでは発表に向けて、研修会を開き、準備を進める中で、研究を深めることができた。

年度末には、各ブロックの研究成果と課題を「研究紀要」にまとめ、各学校の教育実践に生かしている。

次年度は第十一期初年度の研究となるが、研究の視点と具体的内容を参考にしながら、二次以降につながるようになりたい。

今後、成果や課題を共有し、学校現場に役立つ実践的な研究を推進する。

鹿児島地区

日置市立鶴丸小学校
久保田 真

一 地区の概要

平成二十八年度の本地区は、日置市・いちき串木野市・三島村・十島村で構成され、会員数は五十一名（小学校二十八校・中学校二十三校）である。鹿児島教育事務所及び各市村教育委員会の指導を仰ぎながら、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

地区全体での研修会は、五月と十月の二回開催され、事務所長講話をはじめ講演や情報交換が行われた。

一回目は「人事評価制度の推進・確かな学力の定着」二回目は「学力向上・生徒指導の充実」の内容で協議し情報交換を行った。

十一月の県教頭会研究大会では『教育環境整備に関する課題』（情報モラル教育の環境整備を推進するために教頭としてのかかわりはどうあるべきか）をテーマに日置市中学校教頭会が提言を行った。

さらに、十一月末の九州地区教頭会研究大会（沖縄大会）には、本地区から二名が参加した。

また、本地区では、旧市町村を地域とした教頭会が運営されており、各地域研修部長を中心にそれぞれの課題に向けた研究等を実践的に取り組んでいる。

南薩地区

枕崎市立立神小学校
野下 利弘

一 地区の概要

本地区教頭会は、南さつま市、南九州市、指宿市、枕崎市の四市で構成し、会員数六十八名（小学校四十九名、中学校十九名）である。南薩教育事務所及び各市教育委員会の指導を仰ぎながら、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

地区教頭研修は五月と十月に開催された。五月の研修会では、事務所長講話や地区の教育行政の重点施策や、人事評価の目的・方法について指導があった。

研修会終了後に、地区教頭会の組織や年間の活動計画等について確認した。また、懇親の場を設け、情報交換を兼ねながら親睦を深めた。

十月の研修会では、事務所長講話や地区の重点施策に係る指導、学力向上Webシステムを活用した重点課題調査と「授業改善のポイント」を踏まえた効果的な指導の在り方についてグループ協議が行われた。

十一月の県公立小・中学校教頭会研究大会では、南さつま市大笠・坊津・加世田ブロック教頭会が、第一B分科会で「新たな教育施策導入にあたっての教頭の役割」、枕崎市教頭会が、第五A分科会で「教職員の資質・能力の向上を図る教頭のかかわり」についてそれぞれの提言を行った。

一年間の各市教頭会の研究事例集にまとめる。

北薩地区

阿久根市立三笠中学校
塚田 輝司

一 地区の概要

本地区教頭会は、川薩・出水の三市二町、小学校七十五校・中学校三十四校からなり、会員数百十名で組織している。北薩教育事務所及び各市町教育委員会の指導を仰ぎ、教頭としての資質向上を目指して研究に取り組んでいる。

二 活動の状況

五月に地区教頭研修会が開催された。事務所長講話をはじめ、地区の教育行政重点施策に係る指導、新しい人事評価制度についての説明等が行われた。本研修会後には、地区教頭会総会を開催した。組織の概要や年間活動計画・研修計画等を確認した。

各市町教頭会では、研究グループ毎にそれぞれの現状や課題を踏まえたテーマを設定し、教頭としての関わり方を踏まえながら実践的・主体的な活動を進めることができた。

県教頭研究大会では、阿久根市グループ、薩摩川内市グループ1、中学校第6グループ（出水市）の3グループが、各分科会において提言を行った。

県教頭研究大会での発表内容や各研究グループの具体的な取組等は、地区教頭会実践事例集「あしたを拓く」にまとめ、相互の資質向上及び情報共有を図っている。

一年間の各市教頭会の研究事例集にまとめる。

始良・伊佐地区

始良市立建昌小学校
小池 晃一

一 地区の概要

本地区は三市一町で構成され、小学校七十一校、中学校二十三校からなり、会
員数九十四名で組織している。始良・伊佐教育委員会
並びに各市町教育委員会との指導を仰ぎ、教育として
指導向上を目指して、日々
資質向上に取り組んでいる。

二 活動の状況

地区教頭研修会は、五月
と十月の年二回開催されて
いる。事務所長による講話
人事評価制度について、地
事務所長による講話及び
指導の推進、一学力向上
策推進のための教頭として
の取組「最後の事例発表」
教育課「未満一二三義務
育係長」に「学力向上三
た」をテーマにご講話を
いただいた。
講話、各課指導・説明の
か、小中連携推進をテーマ
にした教育プログラムや各
によるフォーラムや各中
校別研究協議が行われた。
最後に鹿兒島大学教育学部
の高谷哲也准教授に「児童
生徒の学びの連続性を保
証する小中連携の実現に
ついて」をテーマにご講話
いただいた。
町研究のテーマ年度末の
町研究のテーマ年度末の
随筆等かまよめた研究誌
発行した。

大隅地区

鹿屋市立花岡小学校
馬場 修身

一 地区の概要

本地区教頭会は、四市五
町一、中学校三十三校（休
校一）、会員数二百二十五
で組織されている。大隅
町教育委員会及び各市
町教育委員会の指導を仰
ながら、教頭としての資
質向上に努めている。

二 活動の状況

地区教頭研修会は、五月
と十月の年二回開催して
いる。大隅教育事務所長
の重点施策について、地
区「学校経営の具現化に
向けての教頭としての方
策」についてワークショップ
に取り組んだ。最後に、「こ
れからの人事評価につ
いて、県教育庁義務教育係
長」のご講話をいただいた。
十月の研修会では、各課
管事項の説明、学力向上
生徒指導等を行った。各
市町協議を行った。各研
修部長を中心として、各
マに基づいて実践を進
め、解決に向けた実践を進
めた。
十一月の鹿兒島県教頭会
研究大会では、大崎町・垂
志布志市・大崎町・垂水市
の教頭会が、提言発表を行
い、多地区参加し、充実した
修を行うことができた。

熊毛地区

屋久島町立安房小学校
教頭 内菌 博之

一 地区の概要

熊毛地区教頭会は、一市三
町からなり、小学校三十三
中学校七校の会員四十名で
組織している。熊毛教育委員
会をはじめ、各市町教育委員
会の御指導・サポートのもと
教頭としての資質向上を目
指し日々研修に努めている。

二 活動の状況

本地区では、年二回地区
頭研修会が開催されている。
事務所長講話を始め、地
区「教育行政重点施策に係
る指導、県教育庁義務教育課
指導講話等が行われた。また
研究協議では、第一回（五
月）は「学力向上に向けた具
体策」と「いじめの未然防
止と早期発見・早期解決」、
第二回（十月）は「授業を見
るための視点」の活用・
「服務規律の厳正確保」に
関する指導、「う歯治療率」
のテーマを設定し、教頭同
士の意見を活発に交流させ
ることができた。また、各市
町の教頭会でも、各学校の
実践事例をもとに、具体的
修を推進することができた。
十一月の県教頭会研究大会
は、「組織・運営に関する」
第四分科会で、「小中連携・
小中連携を通じた児童生徒
育成」をテーマに南種子町
頭会が提言を行い、多くの
区会員が参加し、充実した
を行うことができた。また、
他の分科会に参加した。また、
積極的な研鑽を深めること
ができた。

大島地区

奄美市立名瀬小学校
上村 英樹

一 地区の概要

本地区教頭会は、一市九
町二村で小学校八十三校、
中学校四十六校、会員百八
名で組織されている。大島
町教育委員会及び各市
町教育委員会の指導を仰
ぎながら、教頭としての資
質の向上に努めている。

二 活動の状況

地区全体での研修
（一）地区全体での研修
月の二回開催され、事務
所長講話をはじめ、説明等
の重点事項の説明等が行
われた。また、学校の職員
人事評価について、研究協
議を深めた。さらに、研究
では、「ワークシopp形式
の話合いが取り入れられ、
活発な情報交換をすること
ができた。
（二）研究紀要の発行
市町村ごと一年間研修
したことをまとめ、大島地
区小・中学校教頭会研究紀
要を発行している。今回紀
要の活動報告に加えて、随
等の活動報告に加えて、随
等に記載したこと親しみや
すい紀要にした。親しみ
（三）地区代表者の開催
各町村代表者が参加し、
年間活動の反省と次年度の
計画に幕末の奄美について
講師を招いて講演会を開
や文化交流を開いて、横の
めるとともに、横の連携を
強めている。